

TTC標準
Standard

J T - G 1 0 7

E-model
伝送計画のための計算モデル

The E-model, a computational model for use in
transmission planning

第2版

2006年6月1日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

<参考>	3
1. 標準の概要	4
2. 本標準で規定する内容	4

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、2005年3月に国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）SG12会合において勧告化されたITU-T勧告G.107に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし

2.2 ナショナルマター項目

特になし

2.3 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2003年4月23日	制定
第2版	2006年6月1日	改訂

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで御覧になれます。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

TTC標準 : JT-G113, JT-P862

ITU-T勧告 : G.100、G.108、G.109、P.833、P.834

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるITU-T勧告によっている。

具体的な規定内容はITU-T勧告を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

網管理専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、ハンドセットを使用する標準的な端末を使用した場合において、通信の過程において生じる様々な劣化要因を考慮したエンドーエンドの伝送品質を勘案し、伝送網設計に有効な計算モデル（E-model）を規定する。

E-model は、伝送モデルにより実験的に定められる伝送品質指標に対し、聴覚的な心理尺度による品質指標を相加した品質モデルを提供し、これにより、総合伝送品質指標である R-factor（R 値）が導出される。R 値は、基準となる基本的な接続モデルから算出される総合伝送品質指標から、品質劣化相応分を心理的な尺度に基づいて減算することにより算出される。

なお、品質劣化パラメータの一つである、低ビットレートコーデックによる符号化歪主観品質劣化を表す I_e 値例は、TTC 標準 JT-G113「音声処理による伝送劣化」において示されている。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の ITU-T 勧告による。ITU-T 勧告中で参照している標準は表 1-1 に示す標準に置き換えるものとする。

ITU-T 勧告 G.107 : 「The E-model, a computational model for use in transmission planning」 (03/2005)

表 1-1 本標準で置き換えて参照する標準

ITU-T 勧告中の参照先標準	本標準で置き換える標準
ITU-T 勧告 G.113(2002)	TTC 標準 JT-G113
ITU-T 勧告 P.862(2001)	TTC 標準 JT-P862